

クリスティアン・アルミンク  
音楽監督就任!  
《SECRETS ~音楽の不思議~》

# 広島交響楽団 第447回 プレミアム定期演奏会

Hiroshima Symphony Orchestra The 447th Premium Subscription Concert

ピアノ  
小菅優

Piano: Yu Kosuge

©Takehiro Goto

2025.1.31 (金)

18:45開演 [17:45開場] Friday January 31, 2025  
Start 18:45 [Open 17:45]

広島文化学園HBGホール 広島市中区加古町3-3  
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

コンサートマスター: 三上亮  
Concertmaster: Ryo Mikami

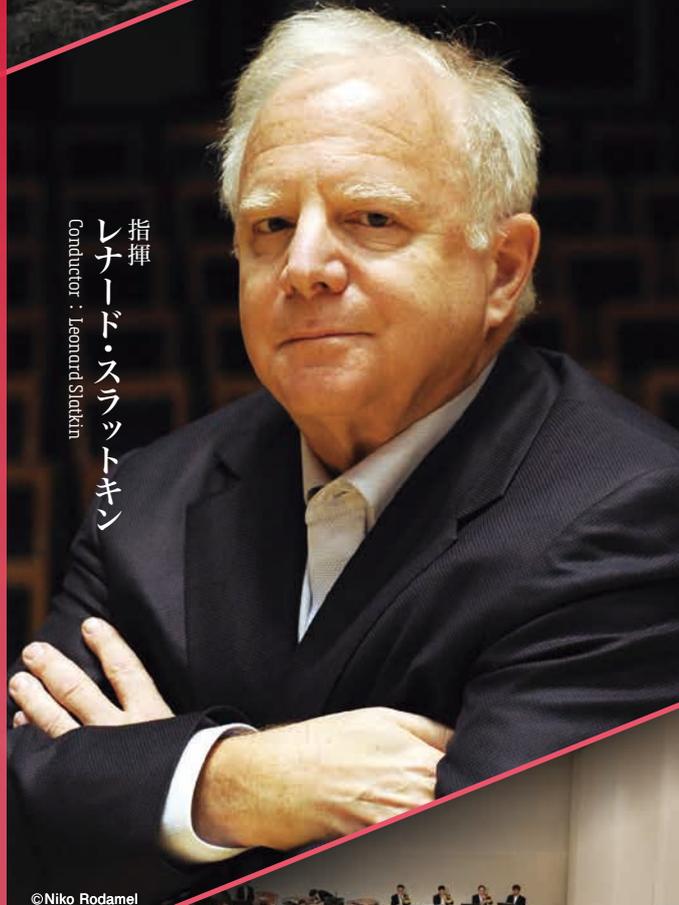
主催/公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助成/文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))  
独立行政法人日本芸術文化振興会  
文化庁  
Agency for Cultural Affairs,  
Government of Japan

公益財団法人 合人社財団

スラットキン シューベルト  
Leonard Slatkin: Schubertide - An Orchestral Fantasy (World Premiere commissioned by Hiroshima Symphony Orchestra)  
シューベルト  
ピアノと管弦楽のための「さすらい人幻想曲」  
Schubert: Fantaisie Wandererfantasie for Piano and Orchestra (arr. Liszt) (リスト編曲)

マーラー  
交響曲第一番ニ長調「巨人」  
Mahler: Symphony No.1 in D major "Titan"



指揮  
レナード・スラットキン  
Conductor: Leonard Slatkin

©Niko Rodamel



## スラットキン、進撃の「巨人」

マーラーに多大な影響を及ぼしたシューベルト、この二人を並べた選曲は定番と言えるが、そこに作曲家・スラットキンが参戦、シューベルトの未完成交響曲に触発されての新作〈シューベルトティアーデ〉の世界初演を自作自演する。そして1月31日といえばシューベルトの誕生日であるから、本公演が綿密に計画された上での選曲であることが嬉しい。小菅優の「さすらい人幻想曲」も凄演を予感させるに申し分ない。最後はスラットキンの「巨人」が大いに観客を沸かせること間違いなしだ。

チケット (税込/全席指定)  
S席7,000円・A席6,000円・B席5,000円(学生1,500円)  
※学生席は小学生以上25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみで取り扱い)

チケット発売日/2024年12月2日(月)  
プレイガイド/  
ローソンチケット(Lコード:60007)、チケットぴあ(Pコード:265-259)、広響事務局

プレミアム協賛/



後援/広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、ちゅびCOM、月刊ウェンディ出版局

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更場合がございます。  
※就学前のおさまのご入場はご遠慮ください。  
※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

お申し込み・お問い合わせ  
広響事務局 TEL:082-532-3080 <http://hirokyo.or.jp> 広響公式HP



## 第447回プレミアム定期演奏会

指揮

レナード・スラットキン Conductor : Leonard Slatkin

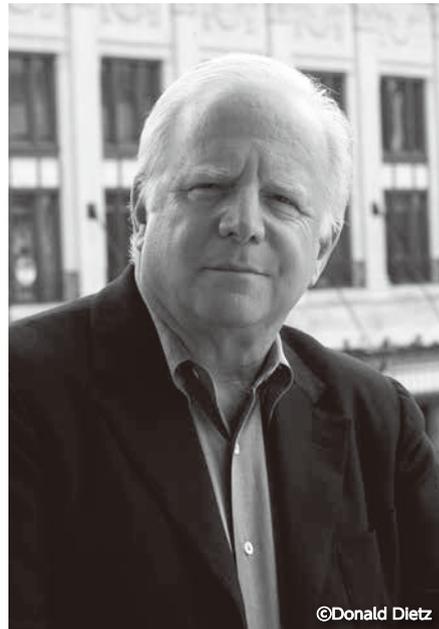
現代屈指の指揮者のひとり。世界中のほぼ全ての一流オーケストラを指揮しており、これまで、ニューオーリンズ・フィル(現:ルイジアナ・フィル)、セントルイス響、ワシントン・ナショナル響の音楽監督、BBC響の首席指揮者などを歴任。現在はデトロイト響桂冠音楽監督、フランス国立リヨン管名誉音楽監督、セントルイス響桂冠指揮者、グラン・カナリア・フィル首席客演指揮者を務めている。作曲家、作家、教育者としても活躍。

自身の80歳を祝う2024/25年シーズンは、かつて音楽監督を務めたすべてのオーケストラと共演するほか、ワシントン・ナショナル響、ニューヨーク・フィル、アイルランド国立響、都響、大阪フィル、広響などに客演。さらに、広響の委嘱により作曲した「シューベルティアデーオーケストラ・ファンタジー」の世界初演を迎える。

レコーディングは100を超え、グラミー賞を6度受賞、ノミネートは35回を数える。近年は、ナクソスからセントルイス響とのガーシュウィン、ラフマニノフ、プロコフィエフの管弦楽作品集を新リマスターで復活させたほか、「スラットキン・コンダクト・スラットキン」と題したスラットキン家の音楽による肖像とも言えるディスクをリリース。他にも、サン＝サーンス、ラヴェル、ベルリオーズ、コーブランド、アッラ・ポルゾヴァ、シンディ・マクティーン、ジョン・ウィリアムズらの作品を録音し、どんなスタイルの曲でも明快に聴かせる演奏に定評がある。

これまでに、アメリカの国民芸術勲章、フランスの芸術文化勲章シュヴァリエ、オーストリアの功績勲章銀章などを受章。著書「Conducting Business」でも欧米の数々の賞を受賞し、その後も「Leading Tones」、「Classical Crossroads: The Path Forward for Music in the 21st Century」を出版。2024年春に「Eight Symphonic Masterworks of the Twentieth Century」、同年秋に「Eight Symphonic Masterworks of the Nineteenth Century」を発売した。

公式ウェブサイト: leonardslatkin.com



©Donald Dietz

ピアノ

小菅優 Piano : Yu Kosuge

9歳より演奏活動を開始し、2005年カーネギーホールで、翌06年には、ザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤、ノリントン、オラモ、ノットなどの指揮でベルリン響、フランクフルト放送響、シュトゥットガルト放送響、BBC響、NDR北ドイツ放送フィル、サンクトペテルブルク響、フィンランド放送響、フランス放送響、スイス・ロマン管等と共演。ザルツブルク音楽祭ではボゴレリッチの代役としてヘレヴェッヘ指揮カメラータ・ザルツブルクと共演。10年から15年まで、東京、大阪でベートーヴェンのピアノ・ソナタ全曲演奏会(全8回)を行った。さらに現在はソロだけでなく室内楽や歌曲伴奏を含む、ベートーヴェンのすべてのピアノ付き作品を徐々に取り上げる企画「ベートーヴェン詣」に取り組んでいる。

録音は、ソニーから発売している最新盤のライアン・ウィグルスワース指揮 BBC交響楽団による「藤倉大:ピアノ協奏曲〈インバルス〉&WHIM/ラヴェル:ピアノ協奏曲ト長調」(第77回文化庁芸術祭優秀賞受賞)をはじめ数多い。

第13回新日鉄音楽賞、第17回出光音楽賞などを受賞。14年に第64回芸術選奨音楽部門文部科学大臣新人賞、2017年第48回サントリー音楽賞受賞。2017年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ「Four Elements」を開催し好評を博した。2023年よりピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクト「ソナタ・シリーズ」を開始。



©Takehiro Goto

### 次回予告 第448回定期演奏会

2025.2.15(土) 15:00開演  
[14:00開場] 広島文化学園HBGホール

バーンスタイン:「オン・ザ・タウン」より3つのダンス・エピソード

トゥビン(生誕120年): コントラバス協奏曲

ドヴォルザーク(没後120年): 交響曲第9番ホ短調作品95 B.178

「新世界より」



©Shumpel Otsugi



指揮:クリスティアン・アルミンク コントラバス:エディクソン・ルイス